三鷹市立第四小学校　令和8年度 【生活】科　授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	【成果】 〇学校探検や身近な自然と関わることを通して、学校のことを知ったり植物や生き物と触れ合うことの面白さに気付いたりして、意欲的に取り組むことができた 。 【課題】 〇気付きや自分の思いや考えを、絵や文章で表現したり、班や学級で共有したりすることに能力差が大きい。	【現状】 〇2年生との学校探検では、2年生との交流を楽しみながら、校内を巡ることができた。 〇アサガオの栽培活動や、自然や季節と関わる活動では、思いや願いをもちながら活動することができた。 【課題】 〇観察や活動を通して気付いたことなど、気付きの質や言語化する力に差が大きい。	【習得と活用】 〇気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどを、言葉、絵、動作、劇化など様々な方法で表現したり交流したりできるよう、体験や活動の機会や場面設定を工夫する。 〇観察や活動の際には、視点を与え、「比べる」「分類する」「試す」といった学習活動を行いながら、共通点や相違点を見付け、それぞれの関係や関連に着目しながら気付きの質を高めていく。 〇友達と発見したことや気付いたことを発表し合うことを通して、気付きを促したり気付きの質を高めたりしながら、自分の考えを意欲的に広めたり深めたりしていく。 【補充・発展的な学習指導】 〇友達との交流から新たな気付きを生んだり考えを広げたりできるよう、ペアやグループでの学習を取り入れて、思考力・判断力・表現力を高めていく。 〇タブレット端末を用いて、写真やホームページ、教科書のQRコンテンツを活用しながら学びを深めていく。 【「三鷹『学び』のスタンダード」の活用】 ◎学習したことをもとに、もっと知りたい、自分でも調べてみたいことを見付け、主体的に取り組むことができるように働きかける。
第2学年	【成果】 〇春探しでは、校庭だけでなく校外に出て観察をしたことで、より多くの植物や生き物と触れ合って、親しみを持つことができた。 【課題】 〇活動の成果や振り返りを文章で表現することが苦手な児童が、多様な表現方法を通して気付きの質を高められるようにしていくことが課題である。	【現状】 〇「町たんけん」の学習では、自分が住む三鷹の地域に興味をもったり、もっと調べたいと意欲をもつことができた。 【課題】 〇生き物など、自分が苦手意識のあるものに関しては興味をもてない児童もいた。 〇活動時間の十分な確保とその後の表現活動の充実を図っていく必要がある。	【習得と活用】 〇一人ひとりの好奇心や探求心を満たせるように、学校の周りや地域の豊かな自然環境を生かしながら自然に直接触れる機会を増やす。 【補充・発展的な学習指導】 〇友達の意見から学んだり考えを広げたりできるよう、グループ学習、ペア学習を活動の中心に置き、思考力・判断力・表現力を高めていく。 〇写真やホームページ、教科書のQRコンテンツを活用しながら、タブレットで家庭でも主体的に学習が深められるようにしていく。 〇生き物等が苦手な児童も興味をもてるよう、関心の高い児童から教えたりその魅力を伝える活動を増やす。 【「三鷹『学び』のスタンダード」の活用】 ◎児童が学校で学んだことを、家庭でもじっくりと考えたり調べたりできるように自主学習ノートを用意し、より深く探求できるように工夫していく。
第3学年			
第4学年			
第5学年			
第6学年			